

役員所感

副理事長 飛田 剛一

<基本方針>

皆さんは心から青年会議所を愛していますか。会員拡大・新入会員の研修と、いずれをとっても青年会議所を心から好きでなければできません。そんな愛する青年会議所の運動の目的である「明るい豊かな社会の実現」のために、いま我々は何をすべきでしょうか。それはJC運動の原点でもあり、それ自体がJC運動であるともいえる会員の拡大、そして組織における会員の資質の底上げこそが急務であると考え、今年度は明確な目標を掲げ緻密で戦略的な計画に基づいて日々の運動に力を注いで行くことが必要です。

我々が掲げるクリードの中に「世界の貴重な遺産とは人間性、人間の心の中にこそ求められる。」という奥深い一節があります。これは、貴重な遺産が人間そのものではなく「人間性」つまり心や性格であると私は考えます。それぞれの個々には心があり性格が違うからこそ、世界の貴重な遺産は人間ではなく「人間性」が貴重なのではないのでしょうか。また、先の見えない『混沌とした状況』の前にたじろぐことなく、それを『混沌という未知なる可能性』であるとも宣言されています。こんな時代だからこそ、変革の能動者たらんとする青年として「明るい豊かな社会」の実現のために、共に率先して行動しようではありませんか。そして、青年会議所の歴史・伝統をも知ることにより、今まで引継がれ大切にしてきたこと、またこれから大切にしていかなければならないことにしっかりと気付き、青年会議所の目的や価値観、また会員拡大がなぜ必要なのかということを再認識し、会員の更なるスキルアップと会員間のコミュニケーションの促進、そして組織としての強化を図り、加えてLOM全体の可能性をも最大限に引き出しながら、本当の意味での地域や社会から必要とされるJC運動への原動力としたいと考えています。

昨今の厳しい経済情勢を鑑みると会員を取り巻く環境は決して充分ではありませんが、今年度は組織の進化の一環として、LOMを挙げて会員相互の交流を深め「和」を結集し、メンバー各々の積極的な参加のもと、LOMの未来に繋がる愛情あふれる会員拡大に重点を置くと同時に、入会後の資質向上を目指した愛情ある新会員の育成を行っていきます。